

伐採有植林 熱帯湿潤林 ⑨コロンビア FSC認証済み産業植林

住民	女性とコミュニティのエンパワーメント	
	■ 女性地位向上	女性雇用者数と割合
	■ 森林資源の価値認識向上	研修参加者数
生物多様性	保護区周辺と自然劣化地の保全	
	■ アカシアとユーカリ植林による回廊づくり	植林面積、植林樹種
	■ 野生動物生息地保全	植林面積、生息動物観察
調査者：林業会社自身		



伐採有植林 熱帯雨林+湿潤林 ⑩パナマ FSC認証済み2サイト植林

住民	先住民族の雇用による持続的森林経営	
	■ 先住民族の雇用者創出	先住民雇用者数
	■ 労働者研修 (Covid-19予防含む)	研修参加者数
生物多様性	長期的な森林再生計画	
	■ 複数種(在来・外来)の伐期をずらした植林	植林面積
	■ 土壌侵食の回復	植林面積、観察
調査者：林業会社と専門家(NGO, 大学等)と協働		
長期的(100年)な持続的森林経営		



伐採有植林 熱帯雨林 ⑪ブラジル アグロフォレストリ志向型植林

住民	雇用創出による住民の生計向上	
	■ 雇用者増加	世帯数、SLA
	■ 生活の質向上(住居、土壌等)	SLA
生物多様性	アグロフォレストリへの転換による生態系回復	
	■ ユーカリ植林のバッファゾーン	植林面積、サンプル地観測
	■ 土壌侵食減少	5年観察
調査者：共同事業者(農家+専門家+炭素コンサルタント)自身が現地大学と協働		



まとめ① 便益の傾向

住民	生計向上(雇用による収入) + 女性地位、地域活性化、気候変動適応能力
生物多様性	保護区の保護・回廊づくり、絶滅危惧種/HCV種保護 + 土壌保全、持続的林业・農業への土地転換

まとめ② 分析指標・方法の分類：専門性の観点から

専門性	高	■ 専門知識が必要 例：SLA、衛星画像分析
	中	■ 機器操作などの訓練は必要だが、それほど専門知識を必要としない 例：PRA、カメラトラップ
	低	■ 専門知識・訓練にかかわらず事業記録から活用できる 例：月収記録、植林面積

\* プロジェクト内でこれらの指標・方法を組み合わせている

まとめ③ 分析指標・方法の分類例

専門性	住民便益						生物多様性便益										
	分析手法		社会関係	生計向上	女性地位	気候変動適応能力	分析手法		環境劣化抑止	生態系回復		絶滅危惧種保護					
	S L A	P R A	既存資料調査	定性インタビュー	月収記録	管理職数	定性インタビュー	講習参加者数	既存資料調査	P S R	経年観察	評価指数	種数調査	衛星画像分析	植林面積	カメラトラップ観察	植林木数計測
高	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—
中	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
低	—	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	○

\* 専門性高：大学、内外専門家 中～低：プロジェクト・スタッフ、参加住民 (+ 在来(伝統)知を有するスタッフや住民)